

内部体制を確立

主婦会中央評議員会で討議

主婦会は去る七月十七日第一回中央評議員会を大田市労働会館でひらき本年度の活動目標として内部体制の確立に重点をおき「分金座談会」「学習会」「内取と主婦会活動」「生活対策と物価値上対策」「助け合い運動」など行動方針に基づき当面の具体的な行事計画を中心として討議し決定した。会議は宮川組合長の中央交渉経過と今後の闘いについて報告を受け、会長挨拶に続き日本共産党評議員大会報告並びに業務報告を了解し諸事項に入り一年間の活動計画などを討議した。

活動のすすめ方

私たちは現実のきびしい生活の中で、第十回の定期大会を迎え、成り来り一年が過ぎた歩みの中、かちももの反省と成果の上にたつてこれからの主婦会の活動をどうすすめていくべきか、方針と当面の反合理化の闘いの構えについて、明るい展望を持って前進することを志す。

具体的活動

具体的活動は、本年度も更に「内部体制の確立」を取り上げる必要がある。確立するための活動として(一)学習会(二)内取と主婦会活動(三)生活対策(四)物価値上対策(五)助け合い運動、おまけに「反合理化の闘い」の構えについて、明るい展望を持って前進することを志す。

新週刊問題

去る七月五日から九日まで、開かれた総評大会はマス・コミの報道によりあつた「新週刊」大会のような印象を一般に与えた。この問題も事実、総評組織にとっては大問題である。そのために、いろいろな意見調整を行ない、公正な処理を期したが、結果的には前大会で決定された方針が満場一致で確認され、責任問題については、太田議長、若井事務局長の辞任を満場一致で承認し決着をつけ、今後この問題でいさぎよき起さないための解決策を行った。

第二三回総評大会の成果

活発な意見が出され、原案に對する相対的な補強が決定された。中心は全産業の規模で現場末端にあつた型で出される合理化であり、現場の労働者に「一層の勇気を与えたい」となるよう、三池の姿勢を基調に、抑圧などいさぎよき労働者をたたかっている三池現場の長

三川鉦事件はその規模においても、三池争議の一つの転機を画する大事件で、当時急速に燃え上つたあつた全国的な安保斗争とのつながりを考えると、日本の政治情勢も大きく動かすような事件であった。それだけに三川鉦事件の法廷斗争も非常に激しいもので、被告団のまさに英雄的な民主化斗争によつて、反動的な裁判所も一応三池の労働者の要求の正しさを認め、裁判の進め方を民主的なものにしなければならぬと認めた。また弁論においては三川鉦事件が米日独占、国家権力、暴力団などの陰謀による計画的なデッチ上げ事件であることとを徹底的に暴露し、三池の労働者の行動は団結権闘争権を行使し、検察の言いなりに事実を

三川鉦事件判決を聞いて

弁護士 齊藤 鳩彦

三川鉦事件の法廷斗争は三池の法廷斗争全体として指導的意義のある立派なものでした。そして三池斗争を闘った労働者の正義要求はいつまでも全日本の労働者の闘いにとって指導的意義を持ち続け、暗く固い米日反動の戦争と隷従の壁を打ち破つて日本を明るい平和な未来に導いて行つてくれるでしょう。

映画会日程

荒尾市庁舎事故 保償金解決

鉄筋三階建ての荒尾新庁舎は、三井建設の請負で現在建設中であるが、技術上のミスから去る四月二六日、四階層根のコンクリート折込み作業中、突然屋根全体が落下し、四名の死者と二十六名の重傷者を出す惨事が発生しました。この事故に對し政治局長は、古閑保守市政三井建設との結託による失態を糾明するために、議会内に事故調査特別委員会を設けることを要求し、現在設置され調査中であります。

三川鉦事件の法廷斗争は三池の法廷斗争全体として指導的意義のある立派なものでした。そして三池斗争を闘った労働者の正義要求はいつまでも全日本の労働者の闘いにとって指導的意義を持ち続け、暗く固い米日反動の戦争と隷従の壁を打ち破つて日本を明るい平和な未来に導いて行つてくれるでしょう。